

【作り方説明書】

タートルネックの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 50cm ・ 58cm ソフビ M,L,LL <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>1.96mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニット等のストレッチ性のある布 ・ ニット用の糸 ・ ニット用の針 ・ 面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>布の伸び具合によっては、 LやLLは着られない場合があります。 LやLLに着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。 伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。</p>
<p>■布に書き出すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ①後身頃 1枚→そのまま1枚 ②前身頃 1枚→ // ③後身頃2 1枚→ // ④襟 1枚→ // ⑤⑥袖 2枚→左右反転して2枚 <p>合計：6枚 のパーツで構成</p>	

■必要な布量参考数値

【タートルネックの型紙 58cm】

横90cm, 110cm, 140cm

縦23cm



01. 型紙を貼り合わせる

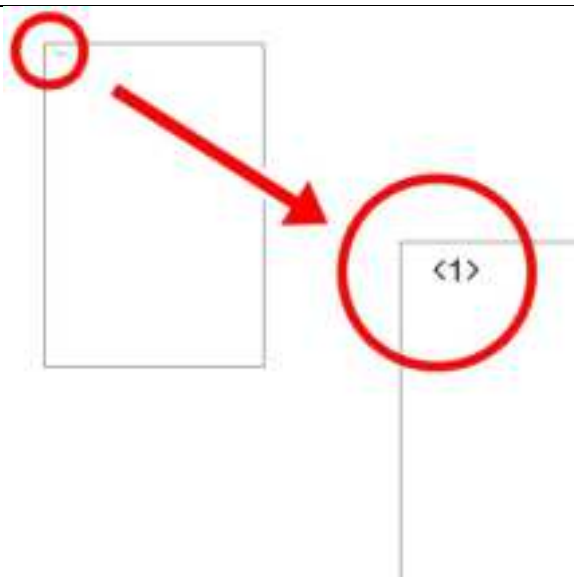
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

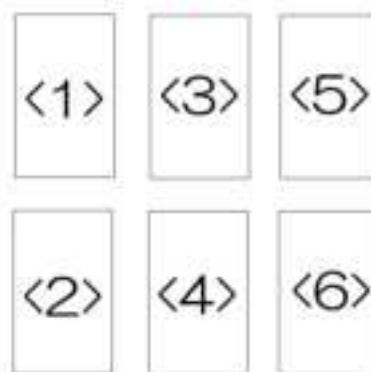
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

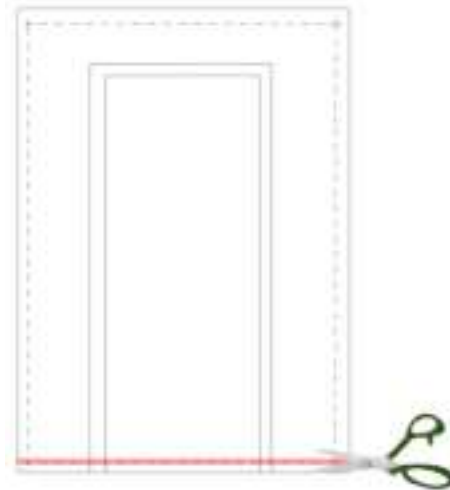


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

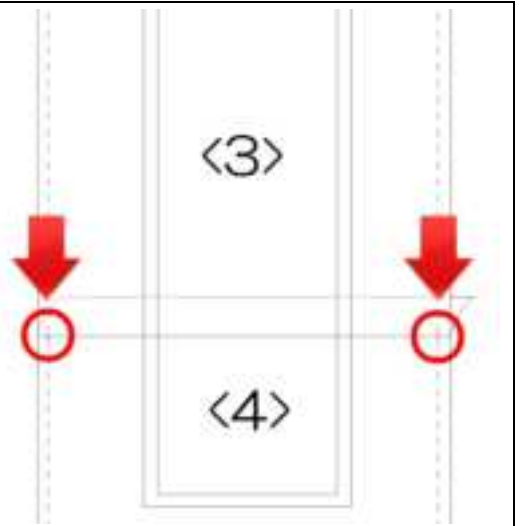
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

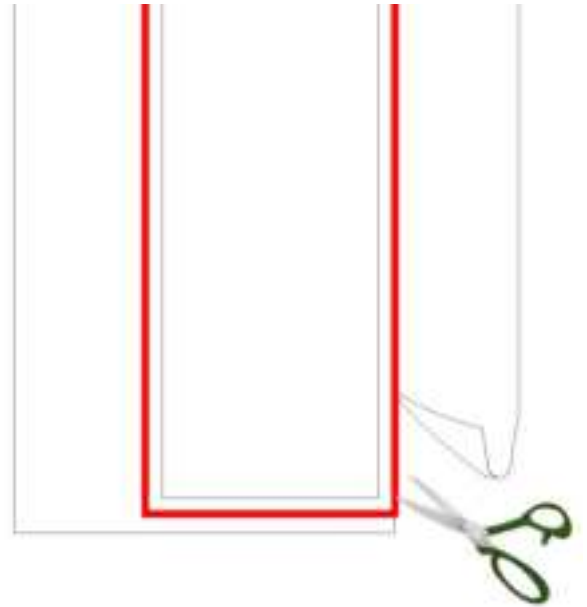


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



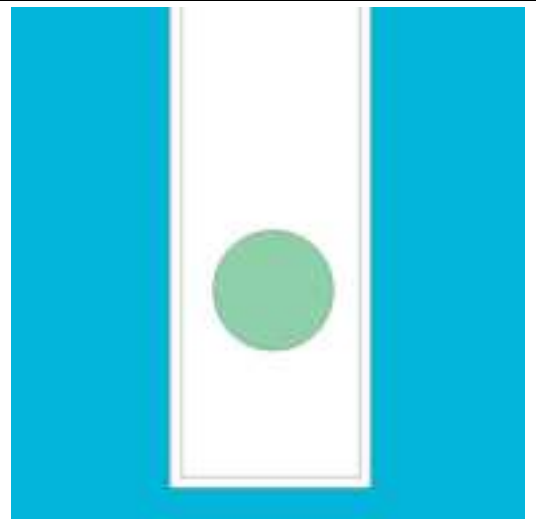
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



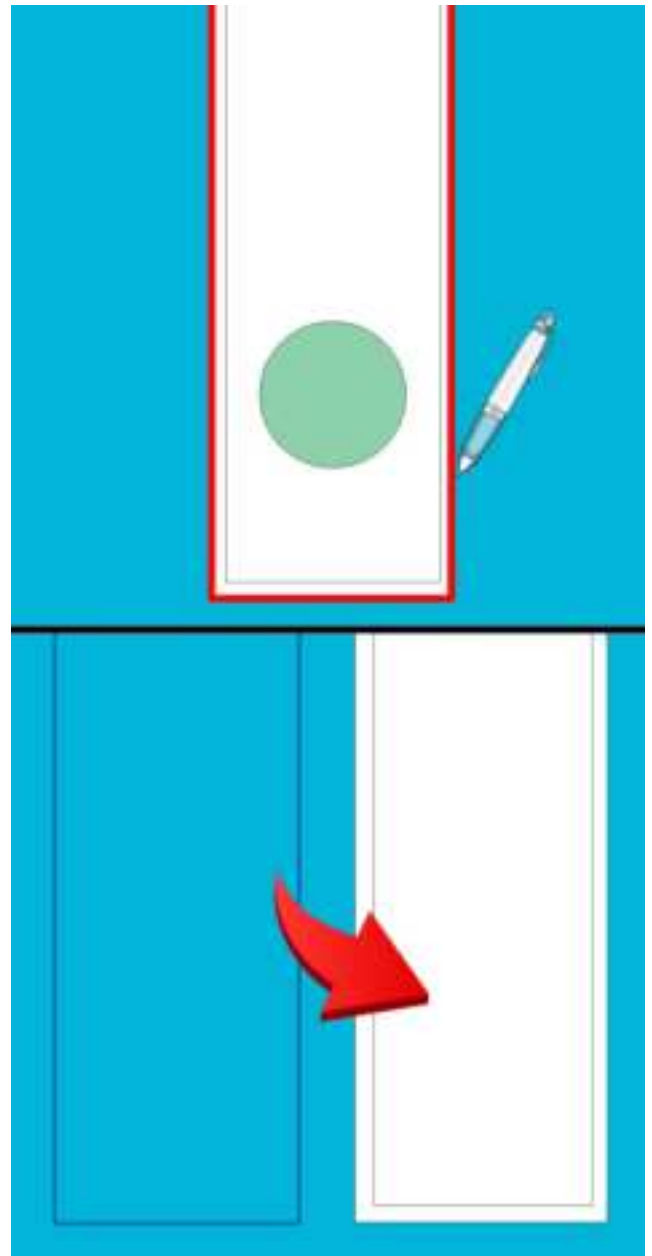
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動
かない様にする。〕

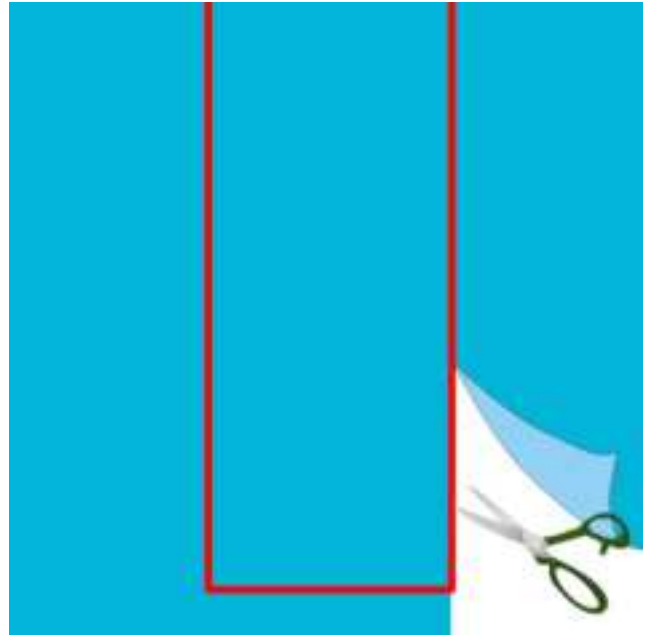


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
 - ・クロバー 水性チャコペン

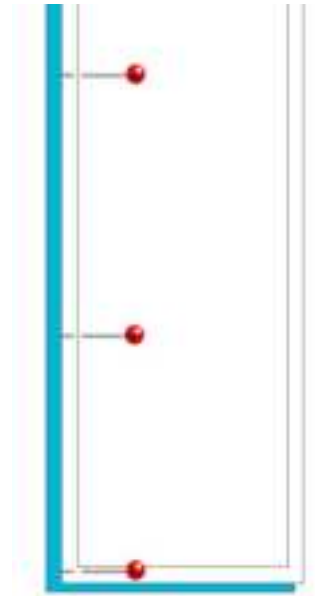


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



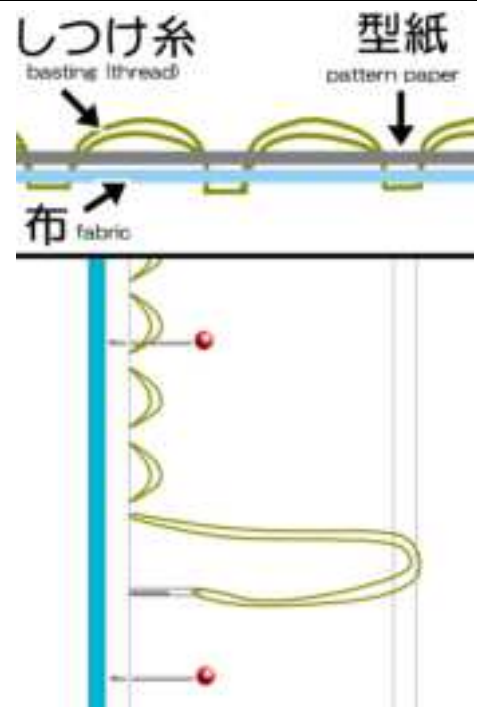
07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



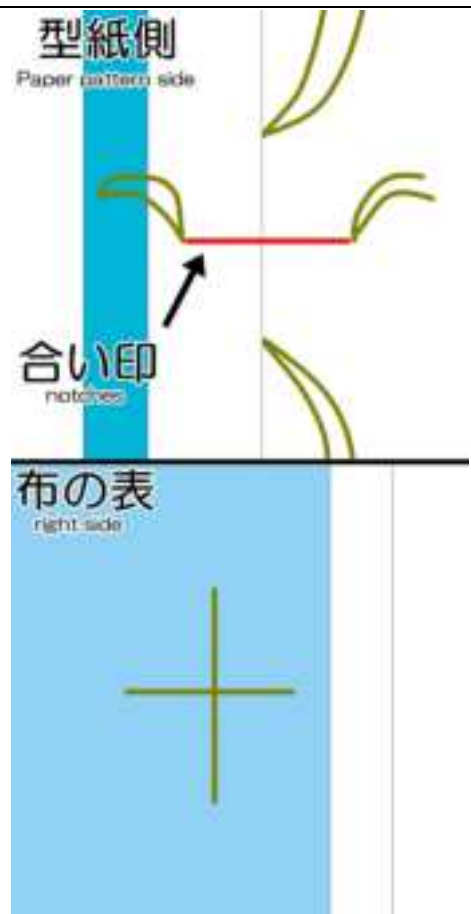
- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。
A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕




⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



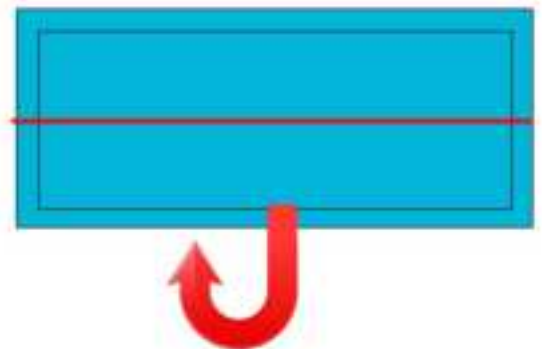
09. 後身頃×2の背中側と袖口×2に、ロックミシンか家庭用ミシンのシグザグで縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
 布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。





10. 表が内側になる様に、襟を真ん中で折る。





11. 両端を縫う。

〔縫〕 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

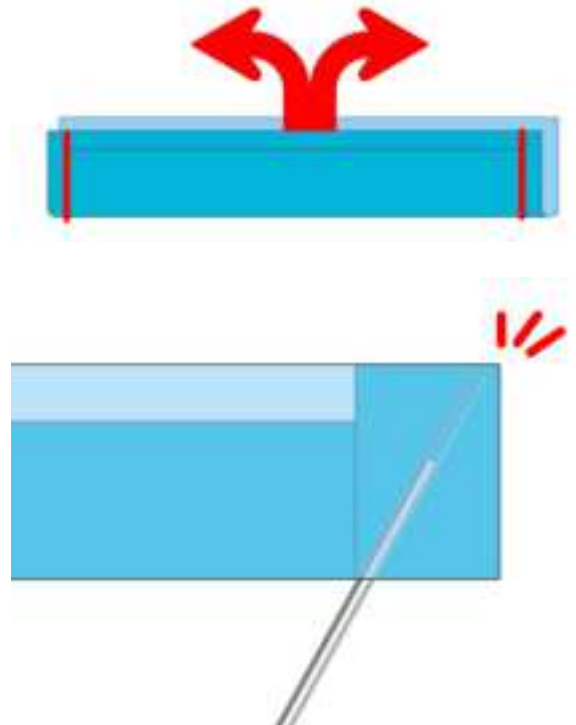


12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



13. 表に返して、太い針の“糸を通す方”
で角を優しく押し出す。

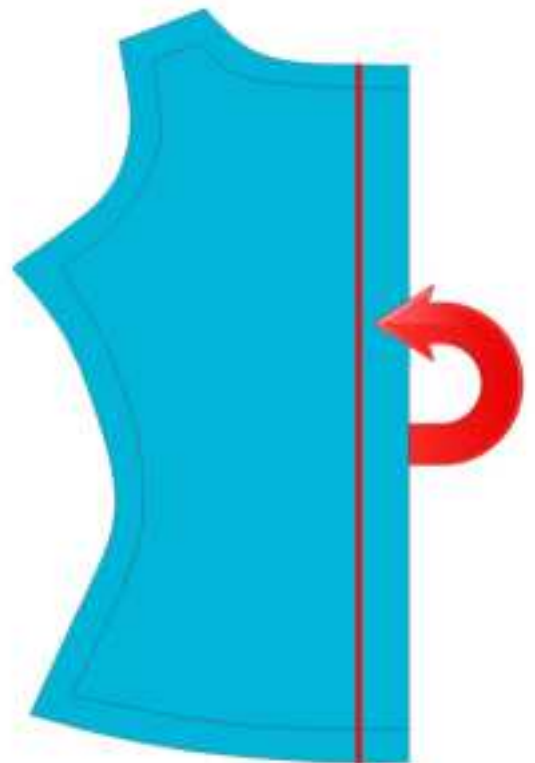


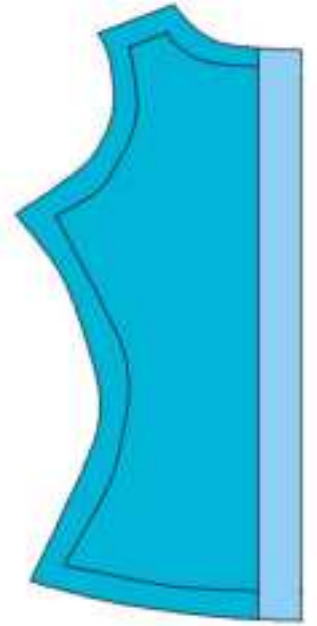


-
14. 袖口を出来上がり線で折って縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



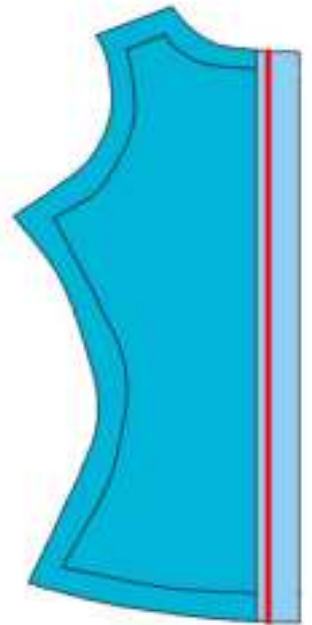
-
15. 後身頃の“谷折り”を折る。
〔 反対側も同じように折る。〕





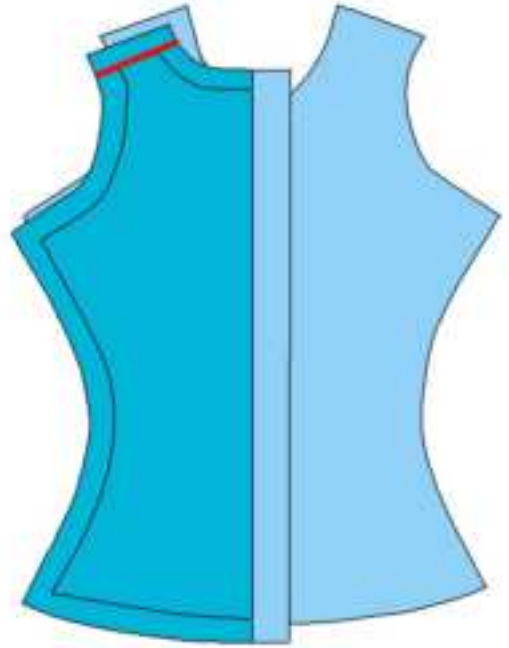
16. 折ったところを縫う。

- 出来上がり線から 0.7cm くらいのところを縫う。
- 反対側も同じように縫う。



17. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

SNP：サイドネックポイント。肩の首の付け根。
SP：ショルダーポイント。肩の頂点。
反対側も同じように縫う。

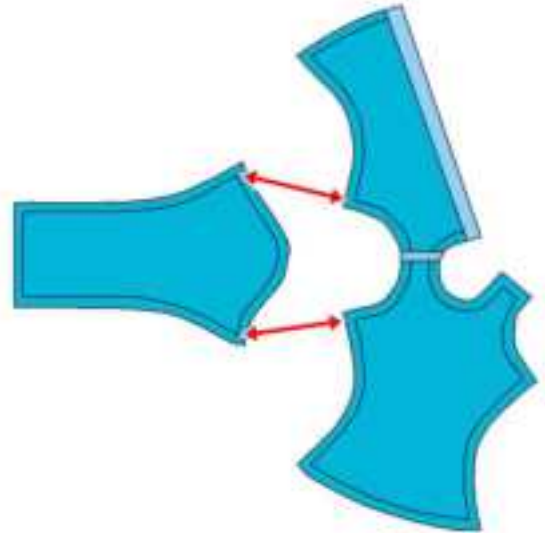


18. 肩を2枚一緒にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



19. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

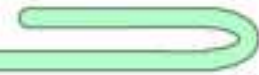
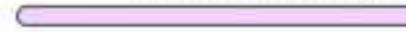
ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、
手縫いでも OK。
肩の縫い代は後身頃側に倒す。
反対側も同じように縫う。



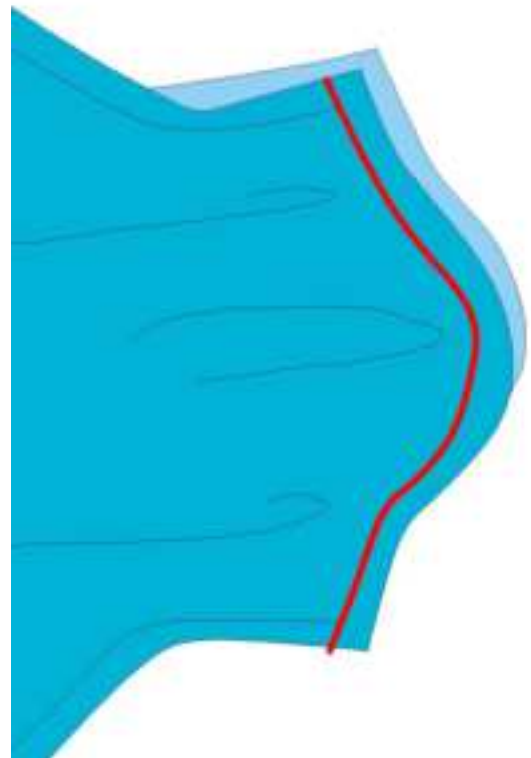
横から見た時

Side view

前身頃
front bodice

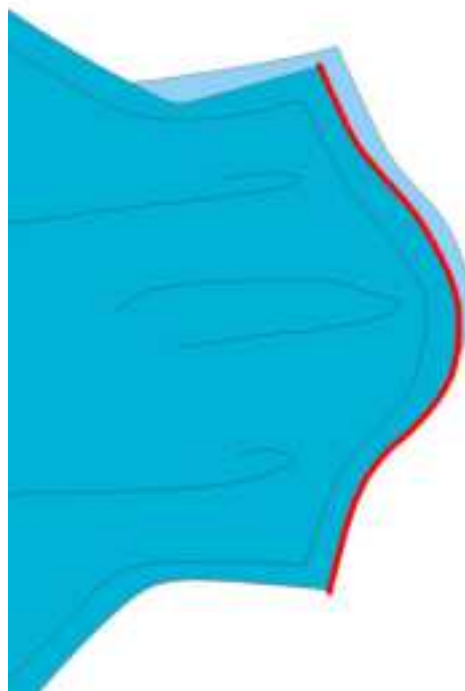


後身頃
back bodice



20. 縫った所をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔袖と身頃を一緒に縫う。
- 〔反対側も同じように縫う。



21. 身頃に襟を合わせる。



22. 出来上がり線で縫う。



23. 縫った所をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔襟と身頃を一緒に縫う。



24. 裾から袖口までを縫う。

- 〔 袖ぐりの縫い代は後身頃側に倒す。
- 〔 反対側も同じように縫う。



横から見た時
side view

身頃
bodice



袖
sleeve

25. 縫った所をロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 2枚一緒に縫う。
- 〔 反対側も同じように縫う。

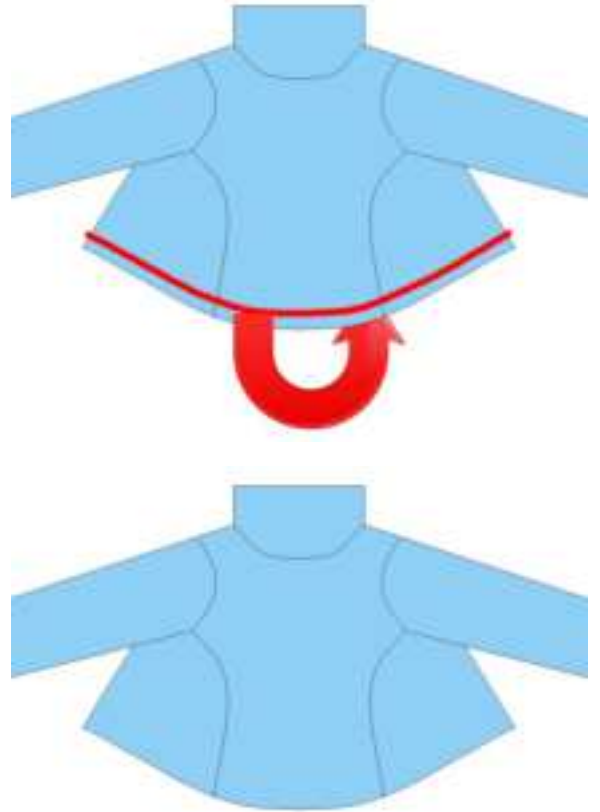


26. 裾をロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 縫い代は後身頃に倒す。



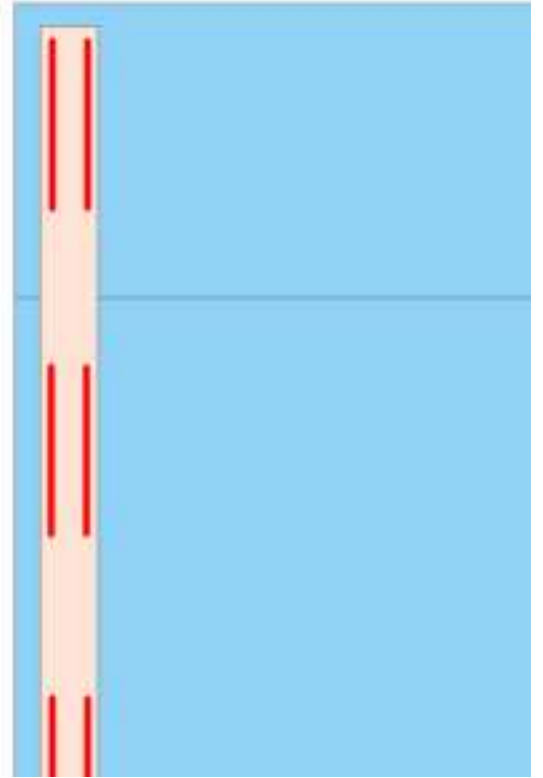
27. 出来上がり線で折る。



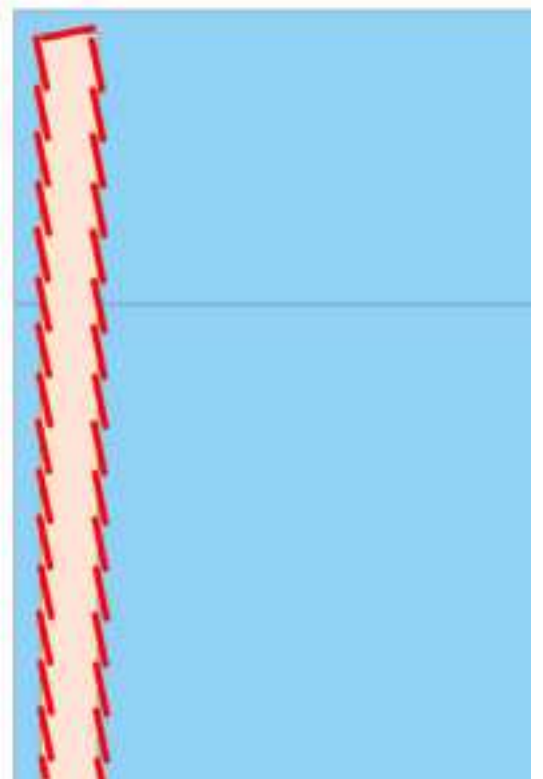
28. 縁を縫う。



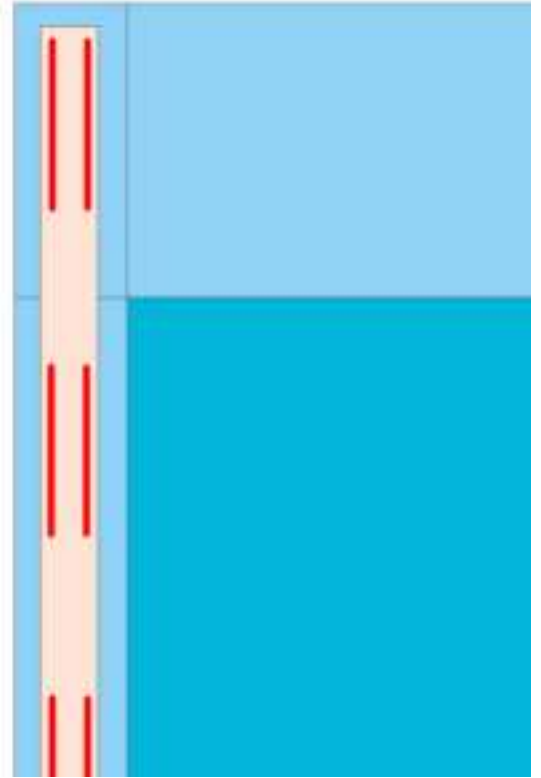
29. 後身頃右側の縫い代に面ファスナーを仮縫いでとめる。



30. 仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫かミシンで縫い付ける。

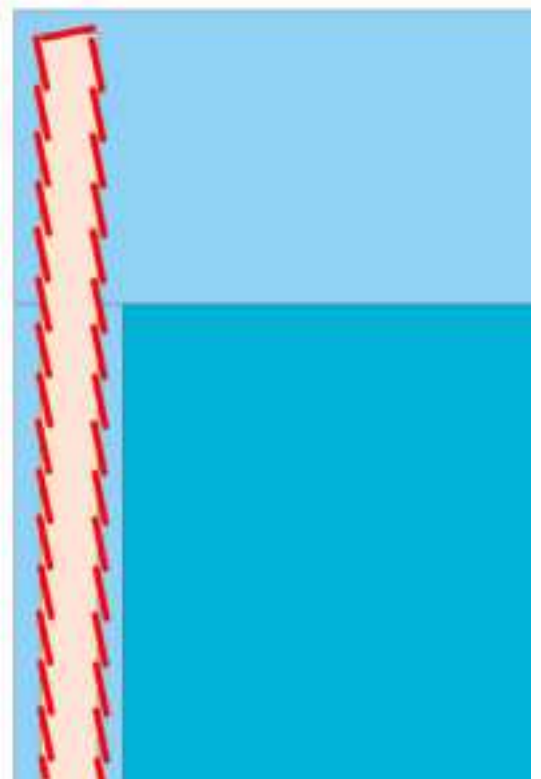


31. 後身頃左側の縫い代に面ファスナーを仮縫いでとめる。



32. 仮縫いした面ファスナーの周りを
まつり縫かミシンで縫い付ける。

〔 布の表に縫い目が出ない様に気を付ける。〕



お疲れ様でした！